

決算

平成23年度の町の決算が認定されました。町が行っている事業は、町民の皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金などでまかなわれています。決算はこのお金が暮らしてまわっている中で、どのようになにかされてきたかをまとめたものです。では、町の家計簿のあらましを見てみましょう。

一般会計の収入総額は、平成22年度に比べ34億7、103万円増えて111億6、581万円となりました。

町の収入は「自主財源」と「依存財源」と二つに分けられます。

自主財源とは、町の独自収入のことで、皆さんの家計に例えると、給料やパート収入、

不動産の売却収入などにあたりません。平成23年度では33億7、434万円、収入全体の30・2%でした。

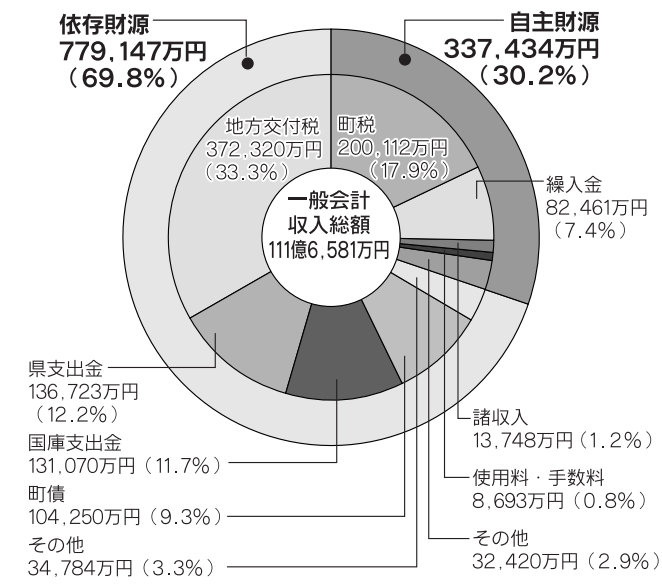
依存財源とは、国や県の意思決定に基づき配分されるものや、事業の財源として町が借り入れを行ったもの（町債）などで、皆さんの家計に例えると、親からの援助、金融機

一般会計

収入 111億6,581万円

INCOME

【収入内訳の構成】



町の構成を見ると、依存財源が自主財源を上回っています。これは、東日本大震災の対応に伴い、町税の減免措置などにより自主財源が減少したことに加え、震災復興特別交付税などの地方交付税及び国庫・県支出金により依存財源が大きく増加したためです。

収入別の構成をみると、地方交付税が全体の33・3%を占め、町税、県支出金、国庫支出金及び町債の順になっています。

【衛生費】生活習慣病検診と予防接種のために（4、517万円）

【妊婦健康診査事業】のために（1、253万円）

【放射線対策】のために「外部被ばく線量測定、サーベイメーター購入、個人線量計購入」（4、458万円）

【労働費】雇用促進住宅宿舎取得事業のために（911万円）

【教育費】公立学校等空調設備整備のために（2億7、444万円）

【公立学校等校庭表土除去】のために（2、144万円）

【矢吹中学校改築事業】のために（10億323万円）

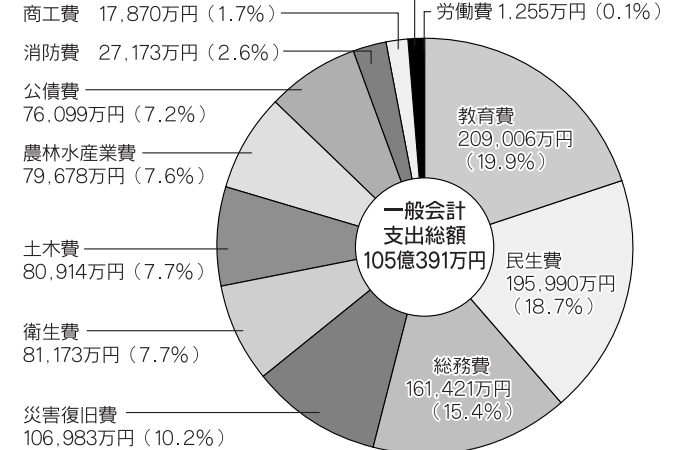
【災害復旧費】東日本大震災に伴う災害復旧のために「農業施設、土木施設、福祉施設、公立学校施設等」（10億6、983万円）

一般会計

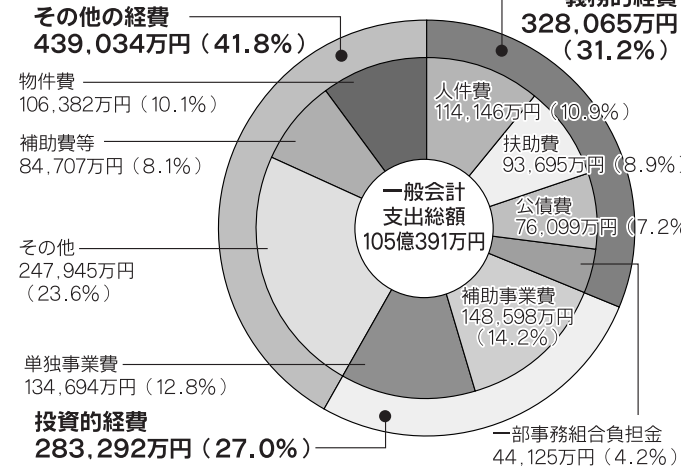
支出 105億391万円

EXPENDITURE

【目的別支出の構成】



【性質別支出の構成】



一般会計の支出総額は、平成22年度に比べ34億2、221万円増えて105億391万円となりました。

支出の構成を見る場合、どのような行政目的に使われたかで分類する「目的別支出」とどのような性質の経費として支出されたかで分類する「性質別支出」の二つの見方があります。

中学校などを充実させるための支出の19・9%、続いて民生費（高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉などを充実させるための支出）の18・7%、総務費（全般的な管理事務、徴税、選挙、職員の人件費などの支出）の15・4%、災害復旧費（東日本大震災の復旧事業などの支出）の10・2%となっています。

義務的経費の支出が多ければ多いほど、他の行政経費に充てられる財源が少なくなり、苦しい財政運営を強いられることとなります。

このため、町では公債費（借入金）の一括返済や職員数の削減による人件費などの抑制を図りながら、義務的経費の削減に取り組んでいます。

●「目的別支出」

目的別でみた場合、もっとも大きな割合を占めているのが教育費（幼稚園、小学校、

●「性質別支出」

使われた費用を性質別に分類すると、家計における住宅ローンの支払いのように、支

目的別の主な事業は左記のとおりとなっております。

- 【総務費】
 - 地域集会所整備事業のために（2、730万円）
 - 福島県議会議員選挙のために（6、900万円）
 - 矢吹町長選挙のために（365万円）
- 【民生費】
 - 敬老会開催のために（809万円）
 - 高齢者のみなさんを支援するために「養護老人ホーム入所措置等」（1、484万円）
 - 障がいのある方を支援するために「重度障がい者の方の医療費、補そう具給付費、知的障がい者の方の医療費等」（1億7、096万円）
 - 子育て支援のために「児童手当支給、乳幼児医療費助成等」（3億9712万円）
 - 延長保育事業のために（1、018万円）
 - 災害等廃棄物処理のために「災害ガレキ処理、損壊家屋等解体処理等」（1億1、561万円）
- 【衛生費】
 - 生活習慣病検診と予防接種のために（4、517万円）
 - 妊婦健康診査事業のために（1、253万円）
 - 放射線対策のために「外部被ばく線量測定、サーベイメーター購入、個人線量計購入」（4、458万円）
- 【労働費】
 - 雇用促進住宅宿舎取得事業のために（911万円）
- 【教育費】
 - 公立学校等空調設備整備のために（2億7、444万円）
 - 公立学校等校庭表土除去のために（2、144万円）
 - 矢吹中学校改築事業のために（10億323万円）
 - 災害復旧費）東日本大震災に伴う災害復旧のために「農業施設、土木施設、福祉施設、公立学校施設等」（10億6、983万円）
- 【農林水産業費】
 - 転作物や被災田に対する助成のために（5、461万円）
 - 国営かんがい排水事業（限戸川地区）負担金のために（7、918万円）
 - 農業振興のために「種子センター機械更新補助金」（3、678万円）
- 【商工費】
 - 町商工会運営補助のために（480万円）
 - 震災関係特別融資信用保証のために（1、136万円）
- 【土木費】
 - 生活道路整備事業のために（797万円）
 - 町道整備のために「松倉大池線」、「中町12号線」、「文京町11号線」等」（6、483万円）
 - 総合運動公園用地代償還のために（3、788万円）
- 【消防費】
 - 避難場所表示看板設置のために（568万円）

自治体財政健全化状況は？

●矢吹町の状況

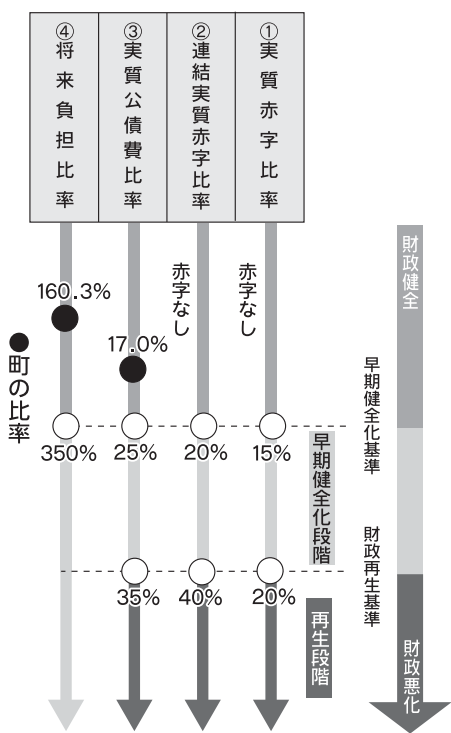
（平成23年度決算数値）

矢吹町の財政は、いずれの指標においても「早期健全化基準」を下回りました。

※市町村の早期健全化基準は、財政規模に応じて異なります。

- ・「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は、平成23年度決算が赤字ではないので算出されませんでした。
- ・「実質公債費比率」は3か年平均で17・0%となり、前年度17・6%から0・6%減少し「早期健全化基準」を下回りました。
- ・「将来負担比率」は160

町では、今後の町政運営において、「第5次まちづくり総合計画」と「復興計画」の着実な実現を目指すとともに、東日本大震災からの復興と放射線対策事業を最優先事業と位置づけ、住民福祉サービスの向上と財政健全化の両立に努めてまいります。



一般会計のほかに町には、6つの「特別会計」と1つの「企業会計」があり、どの会計も私たちの暮らしを支えるために役立っています。

特別会計

(収入) 53億7,690万円 (支出) 46億3,669万円

国民健康保険特別会計

◇収入…24億5,068万円 ◆支出…21億9,759万円

自営業者や退職者などの医療を給付する会計です。主な収入は国民健康保険税と国庫支出金で、主な支出は医療費と後期高齢者支援金です。

●対象者 2,794世帯 5,549人 ●1人当たりの医療費 321,312円

公共下水道事業特別会計

◇収入…10億66万円 ◆支出…8億4,727万円

主に都市計画用途地域内の生活環境の向上と、河川の汚濁防止を目的に下水道を整備するための会計です。下水道受益者負担金や使用料などが収入財源となっており、主な支出は汚水管布設工事費と施設の維持管理費です。

●接続戸数 2,905世帯 ●接続率 78.7%



コウキョウマン

土地造成事業特別会計

◇収入…88万円 ◆支出…31万円

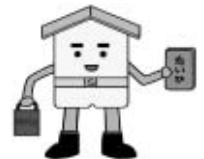
「一本木第2分譲地」など、町が造成した土地を販売・維持管理するための会計です。

農業集落排水事業特別会計

◇収入…7億1,316万円 ◆支出…4億4,374万円

主に農村地域の生活環境の向上と、河川の汚濁防止を目的に下水道を整備するための会計です。農業集落排水事業分担金や使用料などが収入財源となっており、主な支出は農業集落排水施設維持管理費です。

●接続戸数 543世帯 ●接続率 74.1%



シュウハイマン

介護保険特別会計

◇収入…10億9,413万円 ◆支出…10億3,171万円

介護保険制度を運営するための会計です。主な収入は介護保険料と国・県支出金で、主な支出は保険給付（介護サービス利用料）です。

●対象者 4,218人 ●1人当たりの給付金 227,366円



後期高齢者医療特別会計

◇収入…1億1,739万円 ◆支出…1億1,607万円

主な収入は後期高齢者医療保険料となっており、支出は福島県後期高齢者医療広域連合負担金です。医療費の負担割合は、国と地方自治体による公費負担5割、現役世代が4割、高齢者の保険料が1割となっています。

●対象者 2,275人

企業会計

(収入) 4億526万円 (支出) 4億6,798万円

水道事業会計

水道事業経営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った水道料金です。支出は、安全な飲み水を作るための費用です。なお、水道施設を整備するために5,597万円を支出しました。また、平成23年度決算において計上した赤字分(6,272万円)については、利益剰余金等により補てんしました。

●給水戸数 5,480世帯 ●給水人口 16,627人



決算に関してのお問い合わせは、企画経営課企画財政係（☎42-2112）までお願いします。